

サンゴ礁に関する モニタリングについて

第4回サンゴ礁保全・再生に向けての
統合的沿岸管理分科会
平成20年12月25日

モニタリングサイト1000

サンゴ礁分野の調査手法

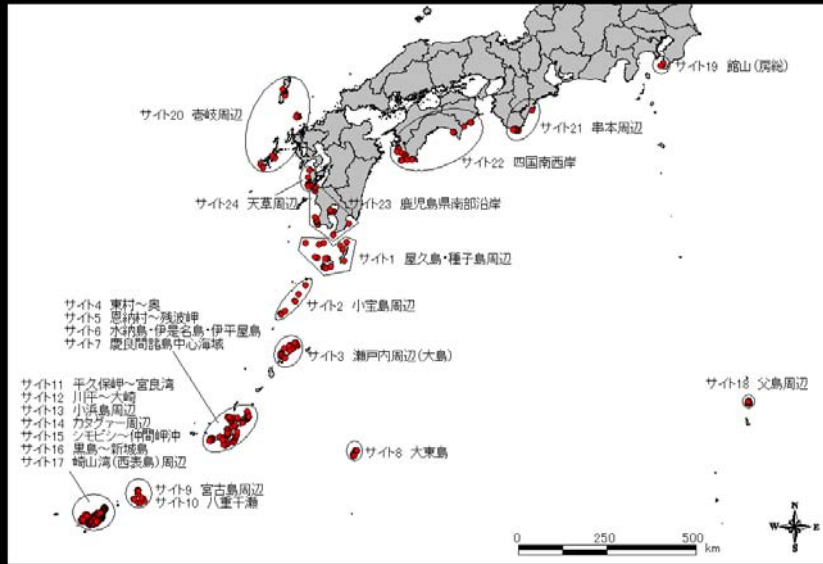
調査サイト等数：24サイト、約450調査地点

手 法：スポットチェック法

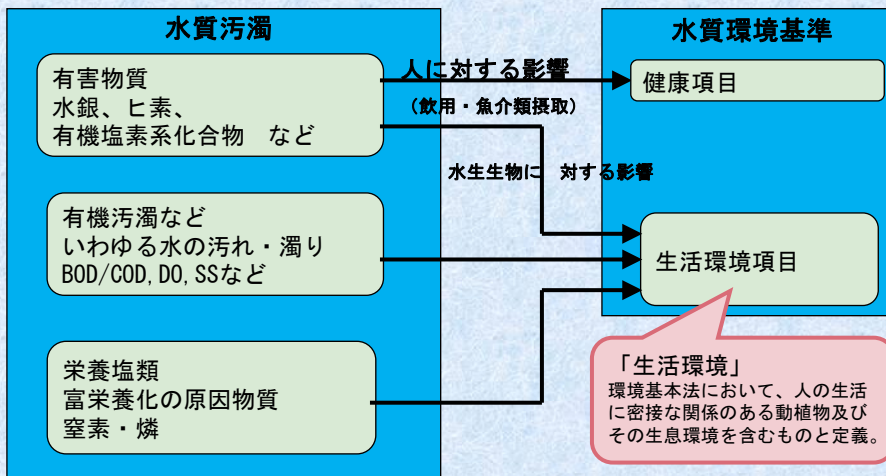
調査項目：

- 生物要素 サンゴ(被度、生育型、新規加入率、白化率)
オニヒトデ(個体数、優占サイズ、食害率)
その他(サンゴ食巻貝、定着性魚類個体数)
- 物理環境 位置、水深、地形、底質、堆積物、水温

モニタリングサイト1000の位置図



水質汚濁に係る環境基準について



BOD/COD

水質汚濁の最も基本的なものに水域の貧酸素化がある。水中から酸素が減少すると悪臭が発生する、水生生物が生息できなくなるなどの障害が発生する。このため、水質汚濁の指標として、直接的な溶存酸素量(DO)の他、この酸素を消費する物質を酸素量として測定する酸素消費量(OD)が利用されている。この酸素消費量には、微生物を利用して測るBOD、化学物質を利用して測るCODがあり、環境基準では、前者を河川に、後者を湖沼、海域に用いている。

生活環境の保全に関する環境基準（海域）	人の健康の保護に関する環境基準（海域）	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 水素イオン濃度(pH) ■ 化学的酸素要求量(COD) ■ 溶存酸素量(DO) ■ 大腸菌群数 ■ N-ヘキサン抽出物(油分等) ■ 全窒素 ■ 全燐 ■ 全亜鉛(水生生物項目) <p style="text-align: right;"><u>全8項目</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ カドミウム ■ シアン ■ 鉛 ■ 六価クロム ■ ヒ素 ■ 水銀 ■ アルキル水銀 ■ PCB ■ クロロタン ■ 四塩化炭素 ■ 1,2-ジクロロエタン ■ トリクロロエチレン 	<ul style="list-style-type: none"> ■ シマジン ■ ベンゼン ■ セレン ■ 硝酸性窒素 ■ 亜硝酸性窒素 ■ ふっ素 ■ ほう素 <p style="text-align: right;"><u>他、全26項目</u></p>

